

# 5. どうして畑のそばにみぞがあるの？ — 多すぎる水を早く流すために

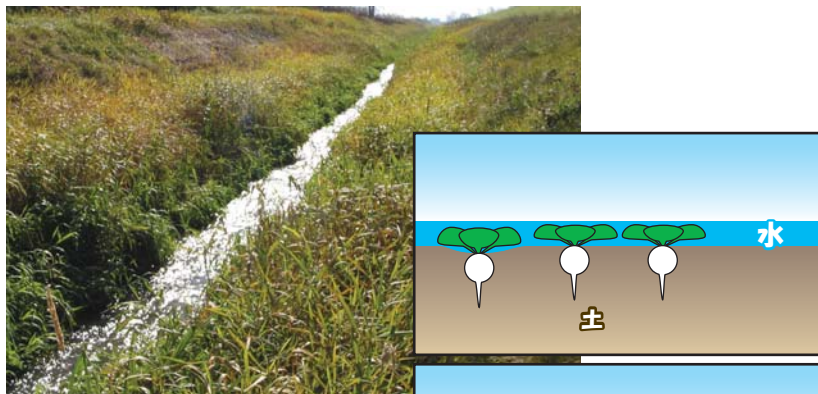
## (1) 雨水を早く流すみぞ

畑の周りには、みぞがほってあります。みぞがあることで水は早く流れていくことができます。

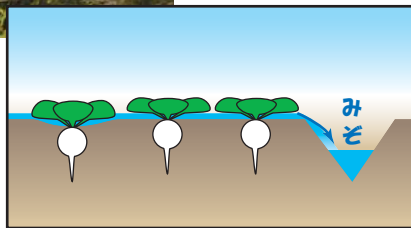
そのおかげで、雨が多く降っても畑にたまった水が引きやすくなります。

しかし、水が引いていったあとには、畑のあちこちに水たまりができてしまいます。まさか、すべての水たまりに、みぞはつけられません。どうしたらいいのでしょうか？

**注意!!**…畑には、勝手に入らないように。農家の人をお願いしてからにしましょう。水路の岸は急になっています。近づきすぎないように。



(上) 畑に降った雨水を、集めて流れるみぞ。



(右) みぞをほることで、畑にたまった水を、早く流し出すことができる。

## (2) 土の中にある水も出すみぞ

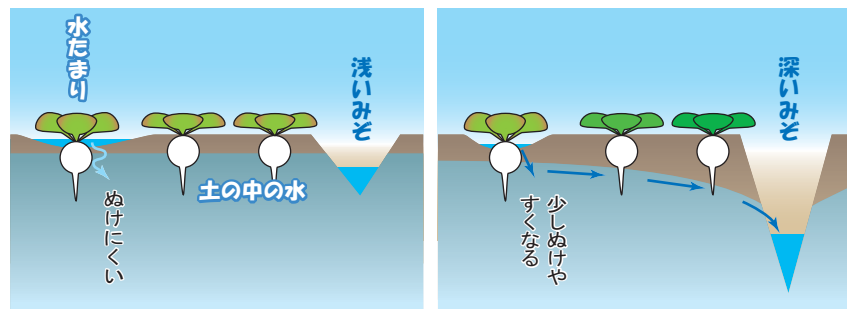
土の中の水が少なくなれば、その分、水がしみこみやすくなります。

深いみぞがあると土の中の水も早くぬけるようになり、そのため、みぞからはなれた水たまりの水も早くしみこむようになります。

みぞは、水が流れて行きやすいように、出口を考えてほる必要があります。



すべての水たまりにみぞをつけることはできない。



みぞを深くほると、土の中の水も流れ出しやすくなり、みぞからはなれた水たまりの水も、ぬげやすくなる。

参考：十勝ニューカントリー21研究会のページ  
<http://www.tokachi.co.jp/tnc21/index.htm>

(ウェブページは、サイト閉鎖やURLの変更によってご覧になれない場合があります)

## (3) 排水路をほる

こうして畑の周りのみぞは、畑の水はけをよくすることと、どこへ水を流していけばよいかを考えて、ほられています。

このような水を流し出すためのみぞを「排水路」といいます。

**注意!!**…工事をしている場所では、大きい機械が動いています。絶対勝手に近づかないように。



みぞほり用のバケットをつけたショベルカーで、排水路をほる。

川で行われた大きな工事

川につながるふだんの暮らし

川につながる農業

川につながる漁業や工業

付録